

にっち音声工房

Dr.ルードの下品で淫らな無限射精耐久実験 ～やがて子作りキメセクに溺れる天才女科学者～

※この台本は収録時に使用したものを元にしており、実際の音声と異なる場合があります。

・チャプター１「導入」

…おはよう、被験体十一号。

…気分はどうだい？ 心身に不調は出ていないかい？

…それなら、けっこう。

身体改造手術と強力な投薬が続いたからね。

少しでも違和感があれば、すぐに申告してくれ。

…本日はこれより、君へ施した処置の効果と、副作用の検証を行おうと思う。

投与された新薬の影響で、君の体臭は、異性の発情と、排卵を誘発する、強力なフェロモンを含むものに変化しているはず。

また、強化改造により、肉体のスペックもあらゆる面で向上しているだろう。

特に、性的機能については、念入りに調整を行なっている。

その経過を、今から、私みずからの肉体を用いて検証していく。

これも研究を推し進める科学者としての責務。データ採取とその解析に、この身をもって臨ませてもらう。

…そんなに鼻息荒くこちらへ迫らなくとも、すぐに処理してあげるからね。

…血走った目で、私の肢体を舐め回すように…。

やはり、被験体自身の性欲も著しく増進されてしまうようだね…。

この積極性は歓迎するが、コントロール不能におちいるのは避けたいところだが…。

…あらためて、君の献身に感謝を。

このドクター・ルードに助力していただき、本当にありがとう。

…世界的な出生率の低下はとどまることを知らない。

家族形成を望まぬ人間が増えていることもあり、種としての人類が存続する力は衰える一方だ。

これは、もはや、この社会の維持を困難にするほどである。

その傾向に歯止めをかけるため、この研究は、非常に重要なファクターとなるはずなんだ。

勇敢なる君たち被験体のおかげで、やっとここまで研究が進んだ。

研究の完成まで、もう少し、皆の力を貸してほしい。

…それでは、検査を始めよう。

さあ、衣服を脱いで、こちらのベッドへ横になってくれ。

・チャプター２「ドクター・ルードの即ハメ性交検査 ～騎乗位でペニスとセックスの能力判定～」

…異性である私を視認してから、すぐさま男性器は勃起状態へ…。

これは素晴らしい結果だね。

あとは、交合相手を満足させる持久力と、精子の受精率の高さに注目かな。

これまでのデータからも、君の仕上がりにはとても期待しているんだよ。

…それでは、実際の性交時の挙動を、私の肉体をもって、検査・検証したいと思う。

…どうだろうか、私の女性器は？ 使い込んではいるが、きれいなものだろう？

…ほう。ペニスがさらなる屹立を…。

この膣穴を気に入っていただけたようで、なにより。一人の女として、私も嬉しく思うよ。

…ではさっそく、交合を開始しようか。

私のヴァギナも準備完了…。まずは騎乗位で、君のペニスの性能を測定する。

君へ施した処置のその成果を、まぐわいの中で証明してみせてくれ。

…んっ…。それでは、挿入する。

…んん、あああ…。

…硬さ、太さ、共に基準レベルをクリア。ペニスの拡張は成功のようだね。

私の膣を押し広げて、奥ふかくまで貫くほどだ。

プロジェクト参加前に比べ、勃起時のペニスの長さは三十パーセント以上の増大…。

陰茎の直径も2倍近くまでサイズアップしているね。

亀頭の膨張率やカリ首の張り出しも理想的で、男性器そのものの強化は想定以上の仕上がり…。

これならば、どんなメスでも満足のいく性交が行えることだろう。

…以前の君の肉体とは大きく異なっていると思うが、違和感や痛みなどはないかい？

…そうか。

しかし、少しでも異常を感じたら、すぐに言ってくれ。

君の体は、貴重なサンプルなのだから。

…それでは、検査を続けよう。

少しずつ、腰を動かすぞ。

高い硬度を誇りながらも、しなやかに、立派にそり返る陰茎…。

ペニスの熱い脈動が、私の膣ヒダをほぐして、君の形を覚え込ませようとしているぞ。

…私自身の女性器も、あらゆる男根に対応できるように改造済みだからね。

君の肥大化したペニスも、根元までしっかりと受け止めることが可能だ。

各種データの収集が完了したら、私の膣を使用して、存分に射精してかまわないから、それまで少しだけ、我慢していてくれ。

…んっ…。…ふうう…。すうううう…。はああああ…。

…体臭が、少し強くなったようだね。

私の中に射精することを想像して、興奮したのだろうか。

濃密なフェロモンが、君から放たれているのが分かるよ。

…なるほど…。これは確かに素晴らしい…。

気を抜けば、この私でも危ういかもしれないね…。

…君の汗腺から放出される、他者の性的欲求を増大させる、強制発情フェロモン。

至近距離でこれを嗅いでしまったのなら、性別問わず、どんな人間でも性行為のこと以外、考えられなくなるほどの強力なものだ。

…無論、私であっても例外ではない。

その証拠に、膣口からは愛液がとめどもなく溢れ、膣内のヒダもペニスを求めてうねっているだろう？

子宮も妊娠に最適な位置へと移動しているはずだ。

もちろん、今はデータ収集と検証が最優先…。

知性と理性を研ぎ澄ませ…、検査を続けよう。

さあ、動くよ。

…んんう…。あはあああ…。

強靱な心臓から血液を送り込まれた君の海綿組織が、膨張し、そり返り、私の膣内を抉ってくるよ。

なんとも心地よい、肉の戯れだね。

君は私の腰の動きに身を委ねていてくれ。

この男根のそのままの性能を、今は試したい。

はあ…。なるほど。

これは、いいね。

しなやかな弾性とたぐいまれな硬度を共存させ、メスの膣へと的確に性感を送り込む…。

比類なき極上のペニスと言っていいだろう。

これは想定以上のスペックだ。私のヴァギナとの相性も抜群だよ。

これほどのモノに貫かれれば、世の女性は皆、君との交尾に夢中になるだろうね。

これは、いい。

実に、いい。

ああ、なるほど…。これほどとは…。

君のような、逞しく、雄々しい人類が増えてくれれば、ああ…。

きっと世界はより美しくなる。すばらしい未来がきっと来る。

この研究を成功させ、共にその光景を見ようじゃないか。

私の昂りに呼応するかのように、ああ、君の剛直が、さらに膨らむ…。

肉棒への刺激を強めて、さらなる反応を見てみようか。

んう…、ああ…。んっ…。

どうだい？ 私の膣でこすられる感触は。

んっ…。んっ…。

腰を上下させ、君の肉ザオをこのヴァギナで、んっ…、しごきあげる…。

カリ高の亀頭を膣口で呑み込み、そのまま、腰を下ろす…。

そして、ゆっくりと、ペニスの先端が抜けないように、腰を浮かせる…。

んうう…。

んああ…。

んん…。

んう…。

あああ…。

君のペニスも素晴らしいが、私のヴァギナもなかなかのものだろう？

私のこの肉体も、自らデザインした、セックスを楽しむための肉体…。

どんな男でも骨抜きにできる、最高級の娼婦の肉体に作り替えたんだ。

自分自身すら実験台にして進めてきた私の研究の最先端が、君だ。

君こそが、人類を次のステージへと引き上げるファクターとなるはずなんだ。

ああああ …。

んんうう…。

ああ…。

はあ…。

んんああ…。

君も、私で感じてくれ。その快感のデータを、あますことなく、私に提供してほしい。

んっ…。

んうう…。

んん…。

んうああ…。

そうだ。ペニスから伝わる感覚に、身を委ねて。快感に歪むその顔を、よく見せてくれ。

あああ…。

んうう…。

んっ…。

んああ…。

んっ…。

ああ…。

はあ…。

はああ…。

たっぷりと精子の詰まった睾丸が、だんだんと収縮し、解き放たれるのを待っているよ。

君の精液は、私の子宮で採取してあげるからね。

残念ながら、現在は避妊モードにあるこの子宮ではあるが、それでも、君の膣内射精が待ち遠しいよ。

ああ…。んっ…。んああ…。

ああ…。君も、私を求めてくれるか…。

これは、存外、うれしいものだね。

いいだろう。そのまま、腰を突き上げてくれ。

互いの性器を打ち付け合い、さらなるデータ収集といこうじゃないか。

んっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

んう…。ぁぁ…。んっ…。んん…。

ぁぁ…。んっ…。んっ…。んっ…。

んっ…。んっ…。んっ…。はぁ…。

さぁ、どんどん速度を上げていくよ。

君もタイミングを合わせて、腰を突き上げてくれ。

んっ…。んっ…。んっ…。んっ…。

んっ…。んぁ…。ぁぁ…。はぁ…。

はぁ…。はぁ…。んっ…。んっ…。

んっ…。ぁぁ…。んっ…。んう…。

先走りのカウパー氏腺液が、私の中で漏れ出ているね。

発情誘発エキスが、粘膜から浸透し、私の脳を、侵していく…。

んっ…。んっ…。ぁぁ…。んう…。

んっ…。んっ…。はぁ…。んんっ…。

これ、は…。並の女性ならば、正気ではいられないだろう。

この身をもって体感する、素晴らしい性能だ。

んっ…。んっ…。んあ…。ああ…。

はあ…。んん…。んっ…。んうっ…。

この私であっても、気を抜けば、目的を忘れて、無心で腰を振ってしまいそうだよ。

んんっ…。んう…。んっ…。ああ…。

はあ…。はあ…。んっ…。んう…。

君の昂りを、感じるぞ。

射精が近いんだね。私の中に、注ぎたいのかい？

いいだろう。私の膣肉に包み込まれて、ここまで耐えることができるんだ。

十分な耐久力と持久力を持つことは分かった。

このターンは、射精量と精子濃度を測定して、ひと区切りとしよう。

私も、遠慮なく腰を打ち付けさせてもらう。

私のヴァギナコキによって、でっぷりと肥えたその睾丸の中身を放出するといい。

んんう…。んああ…。ううん…。んんうっ…。

んっ…。んんっ…。あああ…。んんっ…。

さあ、いつでも、いいぞ。

私の膣内へ向けて、君の子種を吐き出すんだ。

あああ…。ううん…。んっ…。んあっ…。

はああ…。んんっ…。んはっ…。んんうっ…。

あああ、ペニスの脈動が…。ああ、来る…。

はあっ…。んんっ…。んうっ…。ううん…。

んっ…。んっ…。んんうっ…。んあっ…。

ああはあ…。んん、んあっ…。あああ…。んんうっ…。

さあ、来い。射精だ。

このドクター・ルードに、膣内射精するんだ。

私のヴァギナで、君のザーメンをテイスティングさせてくれ。

さあ…。さあ…。あああ、射精…。

んうっ…。んうっ…。ううんっ…。んああ…。

あああっ…。んんっ…。んはあ…。んんうっ…。

射精…。射精…。ナカダシ、来るんだ…。

はあう…。んんっ…。んんうん…♡

んうっ…♡ んはっ…♡ あああ…♡ んんうっ…♡

来る…♡ 出る…♡ 精子…♡ ザーメン…♡

んんっ…♡ ううんっ…♡ んうっ…♡ んはっ…♡

んっ、んはあっ…♡ はあっ…♡ んんんうっ…♡

あっ…♡ はあっ…♡ んんんんうっ、んんっ…♡

んうう、ああはああ…♡ ドクドクと、君の精液が、私の中に注がれているよ…♡

一発で、ああ、子宮を満たすほどの、大量射精…♡

見事な、ものだ…♡

んっ…♡ あああっ…♡ んん、んあっ…♡

あはああ…♡ んんん、んっ、んんううっ…♡

…んんう、あああ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡

…ああ…。はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。

はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。

…ああ、んんう…。子宮に収まりきらぬ、君の子種が、ああ、膣から溢れてくるよ…。

下腹部がより熱く、興奮もさらに高まってくる…。

濃厚な君のザーメン媚薬が、粘膜から直接、吸収されているからだね…。

こんな中出しを味わったのなら、
どんな女でも、そこらのオスとのセックスでは満足できなくなるだろうね。

はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。

んん、あああ…。やはり、素晴らしい仕上がりだね。
十一号…。間違いなく君は、現時点での私の最高傑作だ。

ここまでのパフォーマンスには十二分に満足している。

次は、どれだけ射精できるのか、耐久実験を行おうと思う。
コンディションは、どうだい？ 問題がみられなければ、このまま続けよう。

どこまでのポテンシャルを見せつけてくれるか、とても楽しみだよ。

・チャプター3「射精耐久実験・前編・パイズリ連続狭射で発情するドクター」

…さあ、これが、私の胸だよ。

形と大きさには、いささか自信があつてね。

…んんう…。ああ、どうだい？ 私の乳房の感触は？

今からこのメスの肉の塊で、君のペニスを挟み込み、シゴキあげ、またたつぷりと搾り取ってあげるからね。

…ふふふ…。やはり君も、乳房が好きなんだね。

焦らずとも、君が私の研究に協力してくれる限り、いくらでもこの肉体を味わってくれてかまわない。

…あんう…。私のパイ肉の重みを、その手で感じてくれ。

これから、ここに、君の逞しい男根が包み込まれるんだ。

そして、この肉の隙間に、好きなだけ射精、するんだよ。

…んうはあっ…♡ 私の乳首もすっかり勃起してしまっているね。

君のフェロモンの影響は、確実にこの身にあらわれているようだ。

…ん、はう…♡ 赤子のように、チュパチュパと…。

この勃起乳首に、しゃぶりついて、んふう…。夢中になってもらえて、うれしいよ。

…しかし、そろそろ、君の射精耐久度の検証に進みたいのだが、いいかな？

…当然のように勃起状態を維持しているそのペニスから、どれだけの精液を放出することが可能なのか…。

これは見ものだね。

一度の射精で、私の膣内を、子宮を満たすほどだというのに、
まだまだ萎えぬ、このペニス…。私のパイズリで、何発も搾り取ってあげよう。

…ふふふ…。私の胸もなかなか豊かだという自負はあるが、それでも、君のモノは覆い尽くすことはできないようだ。
カリぶとの亀頭が、胸の谷間から覗いてしまっているよ。

幹は熱く脈動し、なんとも雄々しく、猛々しい。
肉と肉の触れ合う温度は、鉄をも溶かすほどだと錯覚するね。

それにしても、これは…。

…んうう、すうううう…。
…はああああ…♡

オスくさい、このペニス…。こうも間近で嗅いでしまうと、この私でも正気を失いそうだ。
これは重要な検証なのだから、あくまでも冷静に、データを収集しなければ、ね。

…ここからは、我慢は無用だ。好きなだけ、私の胸の狭間で射精してくれ。
君の限界を、私に見せてくれ。

…さあ、いくよ。

…んう…。ほおら、豊満な乳房の感触を、存分に味わってくれ。

汗ばむ柔肌に包まれる、灼熱の剛直…。

たくましくデザインされたこの男根を、ドクター・ルードのパイズリで、ヌキヌキしてあげよう。

膣内よりは刺激は少ないだろうが、視覚的な興奮を、ここでは楽しむといい。

オスの射精を乞い、メスがユサユサと自らの乳肉を弄ぶ、卑猥な遊戯…。

これもまた、一興だろう？

…ああ、はああ…。触れ合う肌から、甘美な熱が浸透してくるようだ…。

胸の谷間が、まるで性器になったように疼いて、んんう、これではもはや乳マンコとでもいうべきか…。

…ああ、はあ…。んう、ふう…。

より太く、硬くなる、ペニス…。

…ふふふふ…。ちち、マンコ…。

私の下品な乳マンコ発言で、さらなる昂りを見せてくれたのかい？

…ああ、いいだろう…♡

より直接的で、より下品な、はしたない淫語で、もっと君を楽しませてみせよう。

ああ…、パイズリ…。

卑猥なメス肉の間で、君のペニスを…、男らしい、チンポを…。

ズリズリ、シコシコと、しごき上げる。

ぶっとくて硬い、オスのデカマラ…。私のパイズリで、気持ちよく、なれ。

君のチンポと私の乳マンコで、交尾しているよ。

先走りがダダ漏れで、ヌチョヌチョと乳肉の谷間で卑猥な音を立てているね。

まだまだ、刺激が欲しいのかい？

では、これでどうかな、んええ、ええええええ…。

ちゆる、ああ…。私のヨダレで、さらに、グチョグチョ…。

グチョ濡れパイ肉で、バッキバキのチンポを、ズリコキするよ。

さあ…。さあ…。もっと、感じてくれ。

私のオッパイマンコで、オチンポ、射精。

我慢しなくていいからね。

乳マンコに、中出し。ドブプリ、パイズリ射精。

さあ、感じるんだ。このオッパイの圧力を、パイズリの快感を…。

高まる射精の欲求に身を委ね、さあ、来るがいい。

パンパンのキンタマに詰まった、その粘性の欲望を…。私の研究のために、捧げてくれ。

あああ、出るね。チンポ、出る。

パイズリで、射精。 チンポ、ドブドブ。

パイマンコに、中出ししてくれ…♡ 君のドロドロを、さあ、発射…♡

んあああ…♡ 熱い…♡

ビクビクと跳ねる、オス肉の先端から…。ドップドブと粘っこい精子が、ほとぼしる…。

二度目の射精であっても、これほど濃厚で、量も申し分ない…。

そして、まだまだ元気に勃起する、オスチンポ…。

ヨダレとザーメンでドロドロのグチョグチョの、いやらしい乳ファックで…。君のチンポ汁を、もっと、もっと、搾り取る…。

…んんう、すううううう…♡

…んあはあああああ…♡

ドスケベな、生臭さ…♡ 脳を侵して、かき混ぜてくるようだ…♡

…これは、すばらしい…♡

ザーメンミルクを、欲する気持ちが、どんどん膨れ上がっていくよ…♡

ああああ…、もっと、出してくれ。

私のパイズリで…。ドクター・ルードの、オッパイヌキヌキで…。

さあ…。さあ…。ほら…。ほおら…。

乳ズリ、ヌチュヌチュ、気持ちよくなれ。

もっとだ、もっと。もっと、射精…♡

乳圧に溺れて、ドブドブと、吐き出せ。

何度でも受け止めてあげるからね。

君の白いのを、思いっきりパイマンコにぶちまけろ…♡

あああ、出る。また、射精。

ザー汁、ビュルビュル、乳マンコ、中出し…♡

…あああはああ…♡ ドクドク、ドクドク、まだまだ濃いのが、たっぷり…。

しかし、こんなものではないはずだ。君はまだ、出せるはず。

ほおら、パイズリ。オチンポ、パイコキ。

絶倫チンポから、もっと、ドピュドピュ。

さあ、射精。上質なキンタマミルクを、もっと提供してくれ。

…んん、んはああああ…♡ 連続しての、大量射精い…♡

すばらしい…。ノータイムで連発ザー射とは、恐れ入る…。

んあああ…。焼けつく男根が、ザードロのパイ膣を征服せんと、さらなる勃起…。

ここからさらにスペックを上げてくるのか…。

どこまでも期待を超えてくる男だよ、君は…。

私も応えないわけにはいかないね。

より激しく、より淫らな乳遊びで、このオチンポ肉を楽しませよう。

あああああ…。グチュグチュと、ヌチュヌチュと、スペルマまみれの乳肉交尾…。

なんと淫猥で、下品な行為だろうか…。

乳房でチンポをズるたびに、下のマンコも、キュンキュンと感じる…。

私のメスの本能が、発情を隠せなくなっているよ…♡

あああはああ…♡ ハードなパイセックスで、オチンポ、ズリコキ…。

乳出し子種汁が泡立つほどだ。

ああ、好きなだけ射精してくれ。

私の胸で、ザードピュ、してくれ…♡

んうふうう…♡ ああはああ…♡

大容量のキンタマから、ひり出される、凝縮精子い…♡

私の乳マンコを孕ませようと、何度も射精…♡ パイズリ中出し…♡

ああ、もっと…♡ さあ、パイズリ…♡

ひとズリ、ひとコキごとに、射精してもいいんだよ？

ドロッドロのオチンポ子種を、んはああ…♡

もっと、もっと、もっと、もっとお…♡

んはああああ…♡ そうだ♡ 汚してくれ♡

ドピュドピュウっ…♡ ドップドプうっ…♡

私を、もっと…♡ 君で染め上げてくれ♡

んっふうう…♡ ああああああ…♡

んんっ…♡ んちゆる…♡ んううふうう…♡

顔面まで、ザー汁、届く♡

ええ、んえへええ…♡ んちゆる、んあはああ…♡

なんとも甘美なオトコの味い♡

頭が、ぼおっと、淫欲に塗りつぶされそうだよ♡

ああ、しかし…♡ まだまだデータを取らなければね♡

さあ…♡ さあ…♡ さあ…♡ さあ…♡

ほおら、射精♡ パイズリで、射精い♡

君の限界を見せてくれ♡

ああはああ…♡ ドロドロお♡ ビュルビュルビュルう♡

何度、搾り取っても、揺るぎない、勃起チンポお♡

ああ、すばらしい♡ 堂々たる、チンポ射精だ♡

しかし、まだ、こんなものではないのだろう？

君のポテンシャルは、こんなものではないはずだ♡

さあ♡ さあ♡ より高度な大量射精を、私に見せつけてくれ♡

ザーメンで溺れるほど、たっぷり乳マンコ中出し♡

んああああ♡ はあん♡

ズリズリ、ズリズリ♡ パイズリで、感じろお♡

キンタマ袋を空にするつもりで、ドブドブドプうっと、ザー汁、放てっ♡

さあ、来い♡ パイ射っ♡

特濃チンポミルクをっ♡ 私の乳奥にいつ♡

ああっ、ふうううう♡ 来ているっ♡ オチンポ射精っ♡

今までで一番の、んはああっ♡ 素晴らしい、射精いつ♡

んんう、ああはあっ♡ これは、耐えられ、ないっ…♡

これは、ああ、イ、く…♡ ああ、イク…♡ イ、クううっ…♡
んんっ♡ んあっ♡ あああ♡ はあ♡ んんんんんうう♡

…あああ…♡ はああ…♡ はあ…♡ はあ…♡
はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡

ああ…♡ 思わず、絶頂、してしまった…♡
私であっても、この量の精液から放たれる催淫フェロモンの影響には、抗えなかったようだ…♡
君の類まれな性能を、この身をもって実感できたよ…♡

…それにしても、ああ…♡
とてもひとりの男から放出されたとは思えない量のザーメンだね…♡

…そして、それでもなお、屹立し続ける、立派なマラ肉…♡
これは、射精耐久実験を続けるしかなさそうだね…♡

…さあ、もっと、搾り取ってあげよう…♡

そのビンビンの勃起チンポから、あとどれほど射精させられるだろうか…？

・チャプター4「射精耐久実験・後編・ベロキス手コキの連続射精と顔射フィニッシュでアクメするドクター」

…ああ、はああ…。

私の胸をこれだけベトベトにしておきながら、
まだまだ萎えるそぶりはみせないようだね。

次は、この手で直接、より強い刺激を与えてみようか。

…まだ、これほどの硬度を維持しているとは…。

私の指が触れると、ビクンと反応してくれる、可愛くも凶悪な、絶倫チンポ…。

乾くまもなく連続射精し、ザーメンまみれの、いやらしいオスマラ…。

スケベな匂いが立ち上り、ますます私を発情させる…♡

このままザーメンローションで、シコシコ、シコシコと、手淫をしてあげよう。

このドクター・ルードの手コキで、もっと感じてくれ。

…ああ、熱い…。

めぐる血液の熱が、この手と指から伝わってくるよ…♡

指を押し返すこの弾力が、なんとも心地いいね。

んんう…♡ チンポ…♡

何発もザーメン排泄可能な、夢のオスチンポ肉…♡

それが、今、私の手の中にある…♡

…さあ、見せてくれ。もっと射精しているところを。
ドピュドピュ、ドピュドピュと、濃厚精子を吐き出すところを。

そおら…♡ シコシコ…♡
シコシコ…♡ シコシコ…♡

オス肉と私の手の間で、ドロドロの精液がズチュズチュと卑猥な音を立てているよ…♡
チンポを包んだこの手を、さおに沿って動かすたびに、んうう…♡ オスフェロモンが、プンプンと香る…♡

この匂いが、女を狂わせるのだ…♡
抗えない発情を…♡ 君と、君のチンポと、君のドロッドロの子種によって…♡
いずれ、すべてのメスにもたらされることだろう…♡

大きな多幸感と共に、渴きと飢えに苛まれ、このデカマラを望まずにはいられなくなる…♡

…認めよう…♡
私も、ああ、君のチンポの虜になりつつあることを…♡

しごくこの手を止められず、さらなる射精を欲する、あさましいメスになり下がろうとしているのだよ…♡

あああ…♡ チンポお…♡ 射精、もっとだ…♡

ほおら…♡ そら…♡ そおら♡
シコシコ、シコシコ…♡ オスマラ、手コキ…♡

私の手で、ドブドブ、吐き出せ…♡

射精…♡ 射精…♡ 射精…♡ 射精…♡

チンポ汁を、ああ、ドブドブう…♡

さあ、イケ…♡ 出せ…♡ 出せえ…♡

…んんうう♡ ああ、出た…♡ ドクドク、出ているよ…♡

んうふう、ああはああ…♡ ドロドロ精子…♡

私の手コキで、濃厚ザーメンが、またこんなにも…♡

ああ、素晴らしい…♡ これほどの絶倫…♡ これほどの、強いオスマラ…♡

連続射精をものともせず、フル勃起を維持する、極上のチンポ…♡

これは、たまらないね…♡ 私の芯も疼いてしかたがないよ…♡

…ああ…♡ それでは、口づけしながらの手淫も、試してみようか…♡

唇と唇で、舌と舌で、もっと愛を交わそうではないか…♡

…ああ、んん…、んっ、んんう…♡

…んっ…♡ んちゅっ…♡ ああ、んんう…♡ ちゅっ、んちゅう…♡

んう、んふ、んんう…♡ んあ、んちゅ、ちゅっ…♡ ああ、んん、んああ…♡

口づけるたびに、チンポが跳ねる…♡

はあむう、んん、んちゅう…♡ ああ、ええ、んむ、んちゅ…♡

ええへえ、んふ、んちゅ…♡ ああはあ、んえへえ…♡ ああむ、んん、んっちゅ…♡

んん、んちゅ、えあはあ…♡ はあむ、んむ、んちゅ、ええる、じゅる、んはあ…♡

濃厚な接吻を交わしながら、んむうう…♡ オチンポ手コキも、んちゅ、んあ、続けるよ…♡

ベロキスと共に、このシコシコで、またイってくれ…♡

ちゅっ…♡ んちゅ…♡ ああ、んむ…♡ ええへえ、ああむう…♡ んちゅる、んん、んちゅ、ええる、えろおおお…♡

ああむ、んふ、んちゅ、ええへえ、んうふう…♡

んあはあ、んむう…♡ んちゅ、ちゅる、んへえ…♡ ええろお、んちゅ、えろおお…♡

んっ、んちゅ、んふ、んむう…♡ んちゅ、じゅる、える、えろ…♡ ああはあ、んんう…♡

んう、はああ…♡ また来る…♡ チンポが、ビクビクと…♡

ああ、いいよ…♡ そのまま…♡ 下品なベロチューしながら、んふう…♡

手コキでドピュドピュ、んちゅ、ちゅる、ああ、イケ…♡

んっちゅ、ああ、んむ…♡ また出せ…♡ ザー汁…♡

んっふ、んちゅ、んは…♡ ああ、んむ、んうふうう…♡

ああ、出る…♡ チンポ汁…♡ んん、んあ、あむう…♡

このまま、ドプっと、ああ、出せえ♡

ベロチューかましながら、ああ、ドピュドピュう♡

んん、んふ…♡ んんんう…♡ んうふう、んんうう…！

…んむ、んは…♡ あああ…♡ ちゅう、んちゅ…♡ ああはあ…♡

ああ、また、たつぷりと、射精きたぞ…♡ んう、んちゅ…♡ ああ、んんうう…♡

ザーメンローションで、ヌチュヌチュと、より淫靡な、オスマラ手淫…♡

ヌチュヌチュ、グチュグチュと、ああ、卑猥な音が、響いている…♡

んうふう、んん、んちゅ…♡ ああ、んむ、んちゅ、える…♡

ええへえ、んむ、ちゅる、えるえる、ええろおお…♡ はあむ、んむ、んちゅ…♡ ああ、んん、じゅる、えへええ…♡

んうう、んふう、んあああ…♡ んっちゅ、じゅる、えろおお…♡

ああ、んむ、んちゅ、あはああ…♡ スケベな匂いが、さらに濃度を上げて…♡

君のオス臭に、頭がクラクラするほどだよ…♡ はあむ、んちゅ、んえへええ…♡

ええろお、んちゅ、んふう…♡ ええる、んん、ちゅる、ああ、ああはあ、ええろおお…♡

ああ、もつとだ…♡ もつと、射精、んむうう…♡

私の濃厚接吻シコシコで、んふう…♡ もつと、もつと、チンポ汁うう…♡

ああ、いいよ…♡ ビクビク、チンポ、逆らせるんだ…♡

その尽きぬキンタマの中身を、私のために、放出してくれ…♡

ああはああ…♡ んちゅ、んへええ…♡ ええろお、んちゅ、じゅる、ああはあ、んふうう…♡

いいぞ…♡ いいぞお…♡ もつとくれ…♡

ああ、出る…♡ んん、んちゅ、ああむう、んんふうう…♡

そのまま…♡ そのまま…♡ ひとコキごとに、ドクドク、吐き出せ…♡

ああはあ、んん、んあああ…♡ 素晴らしい…♡

シコシコするたび、んん、あああ、射精…♡ ベロキス手コキで、連続射精い…♡

ああ、素晴らしい、んむ、んちゅ、える、んふ、んあああ…♡ ええへえ、んちゅるう、じゅる、えろ、んうむうう…♡

この手も指も、白く、ドロドロに、染め上げられていく…♡ んうふう、んん、あはあああ…♡

オスザーメンの淫らな匂いで、んうふう…♡ 窒息しそうな、ほどだねえ…♡

はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ んむ、んちゅ、ああむう、じゅる、んえ、ええへええ…♡

ビュクビュク、何度もオスザーメンをひり出す、極上ペニス…♡

最高性能の、絶倫チンポお…♡ ああむう、んちゅ、じゅる、ええへえ、えろおお…♡

ええる、んちゅ、んあ、ああ、んむ、んちゅう…♡

まるで間欠泉のように、ああ、んむう…♡ とめどもなく、子種があふれる、んうふう、んえへええ…♡

ほとばしる精子が、ああはあ…♡ 下腹部や、太ももに、んんう…♡ ぶっかけられて、んんっ♡

肌からも、ええへえ…♡ ちゅる、じゅる、浸透、してくる…♡

ああむ、んふ、んちゅ…♡ ええる、ちゅっ、んちゅう…♡

ええろ、んむ、んちゅっ…♡ ええへえ、んう、ちゅる、ええる、んんうう…♡

舌を、絡めるたびに、んむう…♡ えへえ、んん、んちゅ、ああ、えへええ…♡

私のこの身も熱く、痺れる…♡ ああ、んむ、んちゅ、んむうう…♡

んあ、あああ…♡ これは、いけない…♡ ああ、イク…♡ んん、イ、ク…♡

手コキでチンポ汁しぼりとりながらのベロキスで、んん、いつ、クラ…♡ んん、んえへええ♡ はあむ、んん、んっふう♡

んんんっ、んあっ♡ ああっ♡ んうう♡ んむ♡ んんっ♡ んうふう♡

んえ、へええ♡ ああむう♡ んふ♡ んんう♡ んんんんんうっ♡

んっふう♡ んん、んえへええ♡ ああ、んむ、んん、んちゅう♡

ちゅっ、んふ、んむうう♡ ああ、んちゅ、ええへえ♡ んん、んうふうう♡

ああはあ、唇は陰唇…♡ 舌はクリトリス…♡ んん、んむ、んっちゅう♡

口腔内は、膣のように、敏感に、んえへえええ♡ ああむう、んむ、んちゅ、じゅる♡ ええへえ、んちゅ、んむうう♡

まるで、私の口が、オマンコになったようだよ、んうむうう♡ ああ、えへええ♡ はあむう、んん、んっちゅ、あへええ♡

チンポをしごいて、舌をからめるたびに…♡ んんっ、んうふう♡

脳が痺れて、セックスしか、考えられなく、なってしまう、んちゅ、ええろおお♡ んちゅる、ああ、んん♡ ええへえ、じゅる、えろおお♡

このチンポに屈服して、んむう♡ 君のチンポ穴にしてもらいたいと、んちゅ、えへええ♡

マンコにハメられることばかり、んんっ♡ 考えてしまうよ、ああ、えへ、んちゅ、んうふうう♡

んう、んちゅ、ああ、はああ…♡

ああ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ…♡

私を、君のモノに、してほしい…♡ はあ、はあ、はあ、はあ…♡

こうして、君の前にひざまづくから…♡

君のチンポを、眼前に戴き、んああ…♡ シコシコ、シコシコ、さらにシゴき上げるよ♡

ああ、また出してくれ…♡ ドロドロでネバネバの、特濃の、ザーメン♡

私の顔に…、私の舌に…♡ 君の精子を、ぶっかけて、くれ♡ 君の子種で、マーキングしてくれ♡

ああ、えへええええ♡ さあ、私のこの、顔射待ち顔にい♡

えええ♡ へええ♡ チンポ汁う♡ ぶっかけ♡ ぶっかけ♡

えええ、へええ♡ ああ、えへええええ♡

…えええ、へええ♡ んん、んふうっ♡ えええ♡ へえええ♡ ええへえええ♡

えはああ、お精子…♡ チンポ汁う…♡ ええ、んちゅっ…♡ ドブドブ、ぶっかけ…♡

ええへえ、んちゅ、んむ…♡ ちゅる、えへえ、んふ、んああ…♡

ああ、はあ、ええへえ、んちゅる…♡ ええへえ、ああ、んんうう…♡

んちゅ、えろ、んふう…♡ 顔をザーメン便器にされて、んちゅる、んえへえ…♡

ぶっかけチンポ汁を、えへえ、ちゅる、じゅる、んあ、ああ、んうふう…♡ 舐め取り、味わって、んむうう…♡

ああ、イ、ク…♡ イク、ああ、イクう…♡

んん、んちゅ、ええへえ…♡ ああむう、ちゅる、んう、ああ…♡

んん、ごく…♡ ああ、んんんうう♡ ああ、アクメ、くるう…♡

イ、ク…♡ イグ…♡ んおお…♡ ああ、はあ、んんんんう…♡ んおおおお…♡ おおお…♡

…あああ、はああ、んん、んあはああ…♡

はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡ はあ…♡

…ああ、まだこんなにも、硬く、勃起…♡

精子でドロドロの、淫らなチンポお…♡ んえへええ、ちゅる、んちゅ…♡

ああ、んむ、えへええ…♡ 私の舌で、きれいにするよ、ちゅう、んちゅ、ああむう…♡

んむう、じゅる、んああ、ええる、んちゅ、ちゅる…♡ ええへえ、んむ、んちゅ…♡ ああはあ、んむ、んちゅう…♡

あああ、んえへええ、ええる、ちゅう、じゅる…♡ ああむう、んちゅ、んえ、えへええ、ちゅる、んんう…♡

ああ、えええ、ええへえ…♡ ええろおお…♡ えろおお…♡ んちゅ、ちゅる、んえへえええ…♡ ええる、ちゅる、えろおおお…♡
んちゅ、えへええ、ああむう、んぶ、じゅる…♡ じゅる、えろ、んぶ、んんうう…♡ ああ、んぶ、んちゅる、じゅる、れろお…♡
ええへえ、んああむ、んぶ、ぶちゅ、ちゅる、えあはあ…♡ ああはあ、ちゅる、んちゅ、じゅる…♡ ええる、じゅる、んむうう…♡

・チャプター5「リミッター解除・変態ドクターの連続中出し下品アクメファック」

…はぁ…♡ はぁ…♡ はぁ…♡ はぁ…♡ はぁ…♡ はぁ…♡ はぁ…♡ はぁ…♡

…これほどの量と、発射回数を、難なくクリアしてしまうとは…♡

私が想定していた以上の性能を、発揮しているよ♡

いたる所に、君の精液がまき散らされ、淫猥な匂いを立ち上らせている…♡

私自身も、全身を濃い白濁で汚されてしまったよ…♡

…懸念していたような暴走もなく、肉体と精神の制御も問題ないようだね♡

しかも、まだまだ萎えぬ、その肉棒…♡ 今日一日で、君の限界性能を測るのは難しいかもしれない…♡

…ああ、素晴らしい♡ やはり、君は逸材だ♡

…現時点で必要なデータは十分に取れた…♡

…が、しかし、君のモノは…、君のぶつとい絶倫チンポは、まだまだ雄々しくそそり立っている…♡

これだけ射精してもなお、メスを求めて勃起しているね…♡

…私とまぐわいたいと、バッキバキに、勃起…♡

…ひとつ、提案なんだが…。

ここからはプライベートタイムとして…、ただのオスとメスとして…♡ ひたすらに欲求のまま、性交を行うというのは、どうだろうか？

ふふっ♡ これだけ搾り取られてもなお、私との交尾を望んでくれるとは、嬉しいね♡

ならば、私もリミッターを外して、君とのファックに、没頭しよう♡

…さあ、いつでも来てくれ♡

四つん這いになり、尻を振る、あさましい、このメスを…♡ ケダモノのように、後背位で、犯してくれ…♡

バックから、私の発情マンコに、君の絶倫チンポを、ぶち込んでくれ…♡

…はああ、んんう…♡ パンパンの亀頭が、んんう、あっ…♡ 濡れそぼったメスビラを、押し広げて、んっくうう…♡

ああ、来る…♡ 私の、穴にい…♡ ああ、はあ、んん、ああああ…♡

勃起ペニスが、グチョグチョヴァギナに、ああ、挿入う♡

卑猥にうごめく、肉ヒダをかき分け、んふうう♡ 再び、君が、私の中へと、入って、くる…♡

んんう、ああ、はああああ…♡

この雄々しい肉棒から…♡ でっぷりとした金玉から、あああ…♡

たっぷりとザーメンを搾り取って、匂いを嗅いだり、味わったりして、んんうう♡

発情しきった、この肉体と、精神…♡ んはあ、んんう、ああああ…♡

私の発情メスマンコを、んあああ…♡ たっぷり堪能して、くれえ…♡

ここからは、んんう♡ 私的な交流、だから、ねえ♡

君のチンポと、私のマンコで♡ プライベートな、ドスケベファックを楽しもうじゃないか♡

先ほどたっぷりと精子を注がれた子宮が、ああはあ♡ もっと君の子種を欲しがっているよ♡

あああ、来る…♡ 極太マラが、ああ、私を、つらぬ、くうう…♡

んんっ♡ あああ…♡ おお…♡ んう、ああはあああ…♡

私の快楽を引き出すポイントを、んはああ…♡

ことごとく刺激しながら、君が、ああっ…♡ 君のチンポが♡ 奥まで、来るうう♡

…ああっ♡ イクっ…♡ すぐ、イクっ…♡

チンポ、ハメられて、あああ、イックう♡

んっ♡ んんっ♡ ああ♡ んく、んんんんっ♡

…あああ、素晴ら、しい♡

すでに私の好きなところを、んふう♡ 把握してくれて、ああ、いるん、だねえ♡

肉体的なポテンシャルもさることながら、んんっ、ああはあ♡ 的確な、分析力だ♡

挿入されただけなのに、思わず、絶頂してしまったよ…♡

あああ♡ はあ♡ はあ♡ はあ♡

オマンコ、いっぱいだよ♡ 君のオス肉で、満たされて、ああはああ…♡

んっくう♡ ああ、シテくれ♡ バックで、パンパン♡ 腰を振ってくれ♡

私のマンコは、多少乱暴にしてくれても、壊れたりしないから♡

だから…♡ あああ♡ このチンポで、ズコズコ…♡ ズコズコ、パンパン♡ 交尾、してくれ♡

…ああああ♡ んんっ♡ ああはあああ♡

そうだ♡ 繊細かつ、力強く♡ 私を快楽へと誘う、腰づかいで♡

んん、ああはああ♡ 引き抜く時の、ゾリゾリとした感触う♡

んあああ♡ あっ♡ はああっ♡ 奥っ♡ ブッさす、チンポお、気持ちいいぞお♡

あああ、イイ♡ 気持ち、イイっ♡

君とのセックス、最高だよ♡ んあああっ♡

ああっ♡ はあっ♡ あっ♡ あっ♡ んっ♡ んっ♡ あっ♡ あああっ♡

気持ちいい♡ 気持ちいい♡ 気持ちいい♡ 気持ちいい♡

そのまま、パンパン♡ チンポ、くれっ♡

んっ♡ んっ♡ んっ♡ んあっ♡ んっ♡ あっ♡ あっ♡ ああっ♡

あっ♡ あっ♡ んっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ んんうっ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ んっ♡ んっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡
あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡
あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡

ああっ♡ イクっ♡ また、イクっ♡
イクイクっ♡ ああっ、イクっ♡

んんうっ♡ んあっ♡ あああ、んぐ、んんんんうっ♡

んんっ♡ んはっ♡ ああっ♡ んんんうっ♡

いいよっ♡ そのままっ♡ 腰、振ってくれ♡
伊っても、パンパン、とめないでくれ♡

君のチンポで、何度でも、アクメきめるからっ♡
君との交尾で、イキまくりたいんだっ♡

ああ、すごっ♡ あっ、んんっ♡ これイイっ♡ 気持ち、イイっ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ んっ♡ んんっ♡ あっ♡ あああっ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡
あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡

んあっ♡ あああ♡ はあん♡ イクイク♡ また、イクっ♡
んんっ♡ んあっ♡ あああ、イクっ♡ んん、んあ♡ イッグううっ♡

んんうう♡ んんうう♡ んあっ♡ あああっ♡
イクイクっ♡ イクイクっ♡ とめられ、ないっ♡

ひと突きごとに、絶頂するうっ♡ 媚薬ザーメン漬けになった、私のカラダあっ♡
イキマンコ、我慢でき、ないっ、んあ、はああんっ♡

また、くれ♡ 君の精子っ♡
イってるマンコに、中出し、くれえっ♡

んっ♡ んっ♡ んはっ♡ ああっ♡ あっ♡ あっ♡ んぐっ♡ んあああっ♡

んっふうう♡ あああ、来る♡ チンポが、ビクビク♡
射精っ♡ 射精っ♡ ザーメン、ドブドブううっ♡

んんっ♡ んあああっ♡ 来たっ♡ キタああっ♡
んあっ♡ ああああっ♡ ナカダシっ♡ ザー汁っ♡

んっはあっ♡ イグイグっ♡ あああ、イグっ♡ おおお、イグうっ♡
ドクドク、射精しながら、んおっ♡ 奥、おおおっ♡ それ、すごっ♡ イッグうううん♡

ドロドロ精子をかき混ぜながら、んおおお♡

ズコズコ、チンポおっ♡ 素晴らしいぞおっ♡

もっと、くれえっ♡ チンポ汁ううっ♡

チンポ汁っ♡ チンポ汁っ♡ チンポ汁うんっ♡

君のドロドロで、私を満たしてくれっ♡

子宮だけでなく、んおおん♡ 脳の中まで、この白濁で染め上げてくれえっ♡

んんっ♡ んおっ♡ おっ♡ おおおっ♡

何発だって、出していいから、んほおおおっ♡

この交尾、気持ちよすぎるうっ♡ 想定以上っ♡ 理想を超えた、オスとの交尾いっ♡

あああっ、イグっ♡ おっ♡ おっ♡ おおおっ♡ イグううっ♡

イグっ♡ おおお、イグっ♡ イグイグ、いいグううっ♡

おっ♡ おっ♡ んおっ♡ おおおっ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おっ♡ おおおんっ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

イグイグ、オマンコっ♡ おおお、出るっ♡ ザーメえんっ♡

種付けしながら、奥ズコ、んっほおおおっ！

イグイグイグイグっ！ おおおっ、イグううっ！

おっ！ おっ！ おっ！ おおっ！

んっ！ んっ！ んおっ！ おおおっ！ んっ！ んっ！ んっ！ んううふっ！

んうっ！ んうっ！ んうっ！ んんっ！ んおっ！ んんう！ んお、おおおおお！

んう、んふ！ んお、おおおっ！ それイイ！ そこ、おお、んほおおおお！

いっ、イグ！ いいグうううっ！ アクメ、とまらないっ！

君との素晴らしい交尾で、おおほおおお！

絶頂しまくりっ！ イグイグ、イグうううっ！

最っ高だよっ！ このファックうっ！

数値だけでは計れない、極上の愉悦っ！ 至上の快樂うっ！ おおお、イグっ！ イグううんっ！

イっグ！ イグううっ！

イグイグっ！ イグイグっ！ んおおおおっ！ イグイグイグうううっ！

んっほおおお！ またクル！ チンポ、出るううっ！

ドクドクっ♡ ビュルビュルっ♡ オチンポミルクううっ！

むっほおおっ！ んほっ！ おおおおおっ！

イグイグイグイグっ！ イっグ！ イグううううんっ！

おおおおっ！ んおっ！ おおっ！ おっ！ おっ！ おっ！ おおんっ…！

んんううう…！ 　んおおおお…！　おおお…！　おおお…！　おっ、おおおん…！
おおんっ…！　おおんっ…！　おおんっ…！　おおんっ…！　おっ…！　おっ…！　おおんっ…！

すっご、これ、んおっ…！　おおおお、ヤバ、おおお、スゴいの、ク、ルうううん…！

あああ、おおおおお…！　んお、んん、んんううう…！
んうふう、んんうう…！　んうう…！　んうう…！　んうう…！　んんんうっ…！

んっ…！　んっ…！　んっ…！　んっ…！　んはっ…！　はっ！　はっ！　はっ！
はっ！　はっ！　はっ！　はっ！　はっ！　はっ！　はっ！　はっ！　はっ！

はっ、はっ、はっ、はっ、はっ、はっ、はっ、はっ、はっ…！

はっ、はっ、はっ、はっ、んん、んはっ、はっ、はっ、んっ、んっ、はっ、はっ…！
んっ、んはっ、ん、はっ、はっ、はっ、んっ、ん、んんっ！　んっ、あっ、んん、んっ、んんんううっ…！

…んんっ…♡　ああっ…♡
はっ…♡　はっ…♡　はっ…♡　はっ…♡　はっ…♡　はっ…♡　はっ…♡
はっ…♡　はっ…♡　はっ…♡　ふっ…♡　はっ…♡　ふっ…♡　はっ…♡　ふっ…♡
んっ、んはっ♡　はっ…♡　はっ…♡　はっ…♡　ふっ…♡　んんっ…♡　んはっ…♡

…はあ…♡　はあ…♡　ふう…♡　ふう…♡　はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡
ふう…♡　はあ…♡　はあ…♡　ふう…♡　はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡
はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡　はあ…♡

…はああ…♡ はああ…♡ はああ…♡ はああ…♡ はああ…♡ はああ…♡ はああ…♡ はああ…♡
はああ…♡ はああ…♡ はああ…♡ はああ…♡ んあああ…♡ はああ…♡ はああ…♡ はああ…♡

…ああはあ、んん、ああああ…♡

強く深いアクメに、意識を、飛ばしてしまったようだ…♡

…その絶倫チンポとの、ケダモノ交尾…♡ すさまじいまでの快感だったよ…♡

…ああ、まだ、足りないよ…♡

次は、ほおら…♡ 正常位で…♡ もっともっと、愛を交わそうじゃないか…♡

いまだ萎えぬ、そのフル勃起オスチンポで…♡ 私にもっと、種付けしてくれ…♡

これほどまでに強化され、変異した君の形質を取り込むのはやぶさかではない…♡

さあ、もっと…♡ もっと子種を注ぎ込み、私を孕ませてみせろ…♡

ここからは、私の子宮も、着床可能モードで挑ませてもらう♡

君と私の子が、どんな性能で生まれてくるのか…♡ あああ…♡ 興味深いねえ…♡

…んん、ああはああ…♡ あふれそうな中出し精子を、そう、パンパン亀頭で、押し込めて、んんうう…♡

んあ、ああああ…♡ さあ、また来てくれ…♡ 私の、ナカへ…♡

…ああ、んお…♡ あああ♡ はああ♡ おお、んおoooooooo…♡

ザーメンとマン汁で、グチョドロの、メス穴あ…♡ 猛るオス肉で、んお、また貫かれて、oooooooo…♡

おおおお、イッグ…♡ ハメて、すぐイグううう…♡

おおお、ほおお、んお、んぐ、んんんんんんう…♡

…おおお、んん、おお、おおおお…♡ んおっ♡ おっ♡ おおおん♡

イキマンコしてるのに、んおおおっ♡ 遠慮のない、チンポ突きいいっ♡

おおんっ♡ おおんっ♡ おおんっ♡ おおんっ♡ おっ♡ おっ♡ おおんっ♡

んおっ♡ おおおおっ♡ またイグっ♡ これ、ダメ、んおっ♡ ほおおっ♡

イグイグっ♡ おおっ♡ んほっ♡ 突かれるたびに、おおお、イグううん♡

いいぞ♡ いいぞ♡ また、出してくれ♡ 私のマンコに、オス子種えっ♡

キンタマミルクを、孕ませ射精いっ♡

オッ♡ オオオッ♡ クルっ♡ 出るっ♡ オオオッ♡ オオオッ♡ ンオッ♡ オオオオオンッ！

中出しオマンコ、イグイグ、イグうううんっ！

何発もザー汁、そそがれて、ンホオオオオッ！ イキ癖のついた、だらしのないオマンコおおっ！

オオオオッ、イグうっ！ イグっ！ イグううっ！

子宮にぶっかけられながら、ンホオッ！ オマンコかき混ぜられて、ンオオオオッ！

イグイグイグううっ！ イグうっ！ イグっ！ イグううんっ！

オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！

オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！

オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！
オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！ オオンっ！

イグイグっ！ 出る出るっ！ ビュクビュク！ イグイグうっ！
ンッホオオッ！ ぶっ飛ぶっ！ ガ・ン・ギ・マ・リいいっ！

マンコから脳ミソまで貫かれたように、ンオオッ！ オオオオウ！
すごい快感っ！ オッ！ オッ！ オオオオッ！

連発ザー汁で、グチョドロのマンコおおっ！
ぶっといチンポで、塗り込まれてえっ！ アアアッ、スゴっ！ これ、やつバあぁっ！

私が作り出した、強いオスにいつ！ 私自身が屈服、して、しまいうっ！

気持ちよすぎる強化チンポとのキメセクでえっ！
アッハアッ！ オオンっ！ オッ！ オッ！ オオオンっ！
交尾のことしか、ンオッ！ 考えられなく、なって、しまう、ンハアッ、ンオオオッ！

オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！
オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！

オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！
オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！ オッ！

気持ちいいっ！ 気持ちいいっ！ 気持ちいいっ！ 気持ちいいっ！

イイっ！ チンポおっ！ オッ！ オッ！ オッ！ オマンコおっ！

ソレっ！ ソコっ！ オオオッ！ 好きっ！ オッ！ オオッ！ 好きいいっ！

オッ！ オッ！ 好きっ！ 気持ちいいっ！

気持ちいいっ！ 気持ちいいっ！ 好きっ！ ソレ、イイっ！

チンポっ！ チンポっ！ チンポっ！ チンポおっ！

もっと、してくれっ！ チンポ、くれえっ！ 私のマンコに、ズコズコ、チンポおっ！

そうっ！ そうっ！ ソコソコっ！ オオッ！ オオオオンっ！

オオオッ、イグっ！ また出るっ！

チンポもマンコも、ンオッ！ イグっ！ イグイグイグううっ！

オオオオオオ！ オオオオオオ！ ンオッ！ オオオオオウ！

アクメ、止まんっ♡ イグイグっ！ オオオオ、イグっ！

絶頂に絶頂を重ねっ！ オッホッ♡ 頭がおかしくなりそうだぁっ♡

はあんっ！ ソレ、もっとっ！ オオオオ、ソレっ！ 好きっ！ 好うきいいっ！

あああ、オオオオッ！ ダメだああっ！

これでは、私があっ♡ 君の、お嫁さんにさせられて、しまいうっ♡

いいやっ、いいんだっ！

して、くれっ！ お嫁さんにいいっ！

君の子種で、私を孕ませ…！

私を、君のお嫁さんにいっ！ して、くれえええっ！

んっほっ！ オオオッ！ オオオオオオオンっ！

スッゴ！ イグっ！ イグうううっ！ つよっ！ ソレっ！ オオオオっ！ 好っきいいっ！

好きっ！ 好きっ！ 好きっ！ 好きっ！

イグっ！ イグっ！ 好きっ！ イッグうううっ！

イッグううっ！ イッグううっ！ イグイグっ！ イッグううんっ！

スゴいのクルっ！ スゴいのおっ！

オオオオ、クルっ！ クルっ！ イグううっ！

出せっ！ 出せっ！ また、ザーメンっ！

特濃ザー汁っ！ オチンポミルクううっ！

私の中を、君の白濁で、染め上げて、くれええっ！

アアア、イグっ！ オオオオ、イッグううっ！

チンポっ！ 出るっ！ ドブドブっ！ ドブドブううっ！

オオオッ、奥でっ！ 子宮っ！ チンポ汁っ！ ドクドクっ！ 孕むううっ！

これはっ！ 間違いなくっ！ 孕むっ！

イグイグイグイグっ！ 孕むっ！ 孕むっ！ 孕むっ！ 孕むっ！

孕んで、イグっ！ 子作りアクメで、オッホオオオッ！ イグイグうううっ！

君の赤ちゃんっ！ 私が妊娠っ！ ンオ、オオオオオッ！

好き、イグ、オオオ、好きっ！

好きっ！ 好きっ！ 孕むの、好きっ！ 君との子作り、オオン、好うきいいっ！

イグイグっ！ イッグうううっ！ オッ、オッ、オオオッ！

オッ、オッ、オッ、ホッ、ホッ、ホッ、ホッ、ホッ！

ホッ、ホッ、ホッ、ホッ、ホッ、ホッ、ホッ、ホッ、ホッ、ホッ、ホッ！

ンッ、ンンッ、ンアッ、アアッ！ ンッ！ ングっ！ ングンンンンンンっ！！！！

…んっ、んお、んふ、んんっ♡ んっ、んっ、んあ、んおっ♡

おっ、おおお、んん、んおおお…♡

…ふっ、ふっ、ふっ、ふっ、ふっ、んん、んあっ、んんう♡

…ああ、はあ、ふう、ふう、ふう、ふう、ふう、ふう、ふうう…♡

…ふうう、ふうう、ふうう、ふうう…♡ あああ、んん、んあ、あああ…♡

…んぐ、んあ、ああ、はああ…♡ はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、ふう、ふう、ふう…♡

…んっ、んあああ…♡ あああ、はあああ…♡

…私としたことが、あまりの快楽に、飲まれてしまっていたようだね…♡

…しかし、これはまた…♡ えもいわれぬ、快楽の奔流…♡

すさまじいまでの、充実感だよ…♡

実験のことなど、すっかり頭から抜け落ちてしまっていたが…♡

なによりも君の性能を示す、いいデモンストレーションになった…♡

やはり、君は、現時点での、私の最高傑作だよ…♡

これからも、この世界のよりよい未来のために…、私と共に来てくれるかい？

…ふふふふふ♡ うれしいね♡

…あああ…♡ まだまだ余裕を見せる、君の、絶倫チンポ…♡

この私を、たやすく陥落せしめる、圧倒的なオスのマラ…♡

私は、なんとも恐ろしいものを作り上げてしまったようだ…♡

…そんな君と、私の子であれば…♡ どんな能力を持って生まれてくるだろうね…♡

…ほんとうに、たのしみだよ…♡

～終わり～